

【人口】 115,583人（令和4年4月1日現在）

【面積】 868.02km²

五ヶ瀬川

祝子川

大瀬川

北川



- ▶ **みんなで決めて、みんなで逃げる**
- 住民主体の防災**
- ▶ **逃げ遅れゼロのまちを目指そう！**

保存版 (令和3年9月9日訂)

荒ぶりを増す自然災害に対して
わたしたちも変わらなければなりません。

延岡市

わが家の
防災ハンドブック

お子さんがいる方や
子育てに関わる方へ
子どもの命は誰が守りますか。あなたです！
家族です！！

自力では避難が困難な方
その家族の方へ
避難することは想像でも
恥ずかしくありません。
あなたも大切な地域の一員
です。

避難、場所の力と
つぎおいがあまりない方へ
声をかければ
助かる命がある。

津波 高潮 土砂災害 洪水 地震 竜巻

個別避難計画★地区防災計画 作成の経緯

【行政の声】

- ・マンパワー不足
- ・日常業務に忙殺
- ・福祉部局と防災部局の連携不足
- ・計画に対する知識不足 等々

はじめの一步が
踏み出せない

【地域の声】

- ・住民の高齢化
- ・自治会(区)に加入しない
- ・若者がいない
- ・責任が取れない 等々

個別避難計画の
作成は無理

**行政が地域に向いて
計画策定の推進を！**

【令和3年度に新規事業を立ち上げ、予算化】

- ▶ 高齢福祉課『避難支援計画の策定に向けた検討事業』
- ・避難支援の関係者による検討会の開催 ・先進地視察
- ▶ 危機管理課『地域主体の災害対応力強化補助事業』
- ・地区防災計画を策定した地区に、資機材購入や避難路・備蓄倉庫整備の補助

個別避難計画作成推進体制～検討委員会の設置～

- ・避難行動要支援者の現状確認
- ・福祉専門職との調整
- ・『専門職と作る個別避難計画』の作成支援
- ・地域調整会議の開催

- ・避難行動要支援者の災害リスク確認
- ・地域（区・民生委員など）との調整
- ・『自分・地域で作る個別避難計画』の作成支援
- ・『個別避難計画』全体の作成支援

健康福祉部

- ・高齢福祉課
- ・介護保険課
- ・生活福祉課
- ・こども家庭課
- ・障がい福祉課
- ・健康増進課
- ・健康長寿のまちづくり課
- ・地域医療対策室

総務部

- ・危機管理課

検討委員会

消防本部

- ・警防課
- ・消防団係

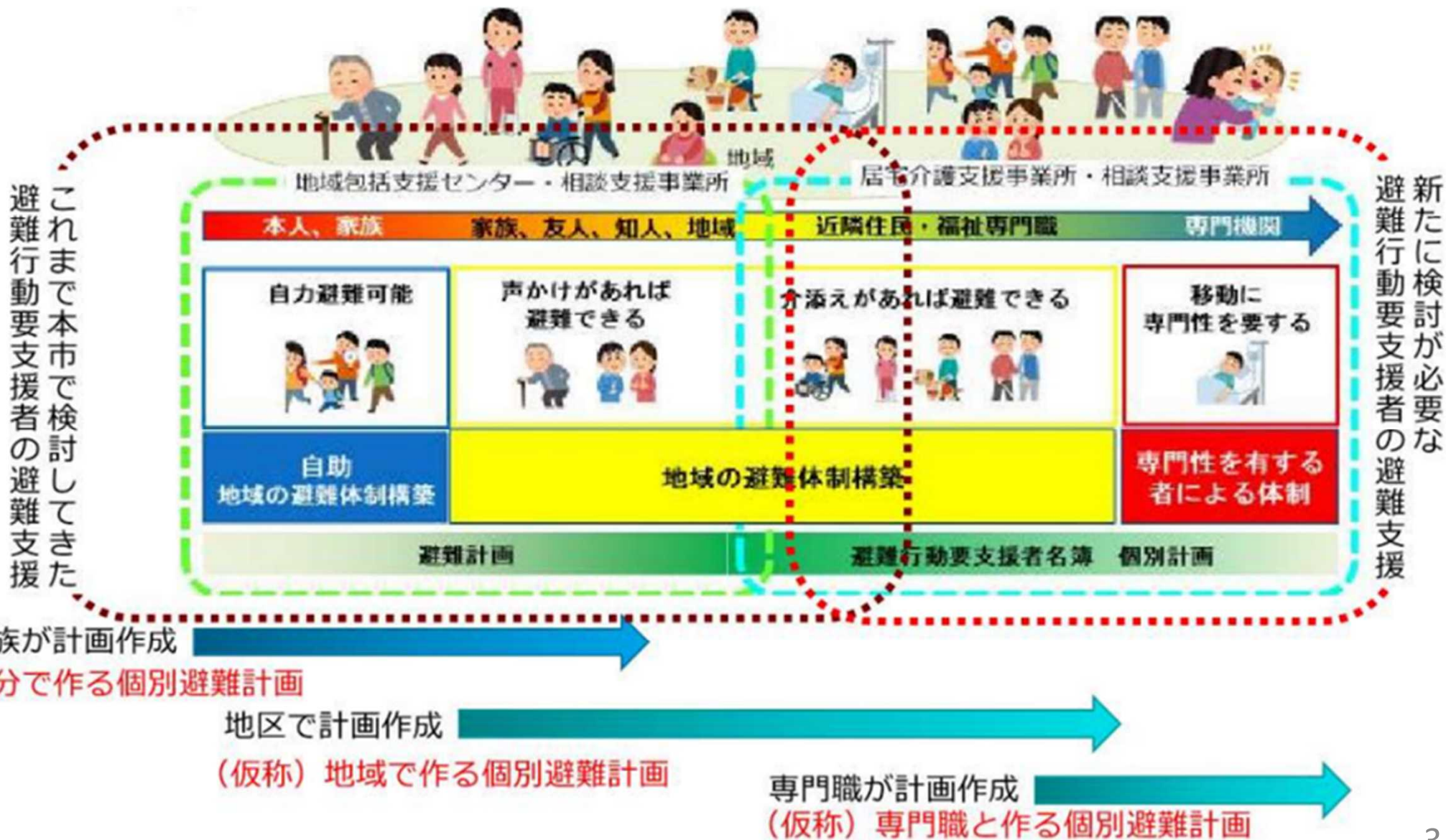
【関係団体】

- ・区長連絡協議会
- ・民生委員児童委員協議会
- ・社会福祉協議会
- ・自主防災組織連絡協議会
- ・介護支援専門員連絡会
- ・障がい者自立支援協議会
- ・医師会

- ・自主防災組織、消防団との調整

【① 3つの個別避難計画と課題分析シート】

避難行動要支援者3,859人を「青」「黄」「赤」の3つに分類し計画を作成します。



【① 3つの個別避難計画と課題分析シート】

避難行動要支援者**3,859人** ⇒ 誰から作る？

計画作成の優先度を以下の3つのポイントで判断する

① 地域におけるハザードの状況（洪水・津波・土砂災害等の危険度の想定）

- ・ 河川：浸水想定区域など（「浸水深が●m以上」や「建物倒壊が予想される」地域など自治体の状況・実情に依り設定）
- ・ 海岸・湖沼：津波災害特別警戒区域など
- ・ 傾斜地：土砂災害特別警戒区域など 等

② 対象者の心身の状況、情報取得や判断への支援が必要な程度

- ・ 重度の要介護や障がいのある者、人工呼吸器使用者等、自力での判断や避難が困難な者

③ 独居等の居住実態、社会的孤立の状況

- ・ 避難支援者が側にいない

延岡市では「優先度」を『課題分析シート』を用いて判定

【① 3つの個別避難計画と課題分析シート】

ステップ1 自宅の災害危険と事前避難の必要性

あなたの自宅に想定される災害の危険を確認して、自宅建物以外の場所へ避難する必要があるかどうかを整理しましょう。

ハザードマップで自宅のある場所を確認しましょう。

(1)大雨時、あなたの自宅のある場所は…



- 洪水による浸水の危険が高い
(最大で _____ mまで浸水)
- 土砂災害の危険が高い
(_____ に該当)

□に✓がある場合：
自宅は危険！避難が必要

自宅以外の安全な場所へ避難が必要です。
家族や地域の人などと一緒に避難計画を作っておき、災害が起こる可能性のある時は早めに避難しましょう。



危険！

(2)津波発生時、あなたの自宅のある場所は…



- 浸水する危険性が高い
(最大で _____ mまで浸水)

□に✓がない場合も、念のため、家族と一緒に安全確保のための計画を作りましょう。

災害は、危険が高くないと思われている場所でも発生する場合があります。災害が起こりそうなときは、浸水等の危険のない階の場所で過ごしましょう。

(3)あなたの自宅の居住形態を教えてください。

- 戸建住宅
- アパート・マンションなど（ _____ 階建ての _____ 階に住んでいる）

（ _____ 階建て）



- 洪水時：最大で _____ 階まで浸水
- 津波時：最大で _____ 階まで浸水

□
自宅のある階も浸水する危険が高く、避難が必要

危険！

(4)その他、災害時のあなたの自宅の心配ごとなどを自由に書いてください。

ステップ2 避難時に困ること

ステップ1を踏まえて、災害から避難するときに困ることや心配なことに「✓」、または自由に書き出しましょう。

災害時の課題と現状の備えを確認しましょう。

(5)判断・意思疎通に関すること

- 電話の対応は難しい
- 知らない人が来ると混乱する
- 危険を察知しとるべき行動を判断できない
- 自分の意志を伝えることができない

(6)移動に関すること

- 階段の上り下りが難しい
- 夜間の避難は難しい
- 歩いて避難することは難しい
- 車いすが必要だが自走できない
- リフト付き福祉車両が必要
- 外出の準備に時間がかかる（ _____ 分程度）

(7)避難生活に関すること

- 多くの人が集まる場所が苦手
- 電力等が不可欠な医療機器を使用している
- 一時的でも電気・水道・ガスがないと生活できない
- 一時的でも外出ができず介護者等が来れないと生活できない
- ペットがいる（ ケージあり なし）

(8)その他、災害時のあなたの自身の心配ごとなどを自由に書いてください。

【① 3つの個別避難計画と課題分析シート】

ステップ3 避難計画づくりの取り組みかた

これからあなたの避難計画を作ります。ステップ1、2を踏まえて、誰と一緒に作るかフローに沿って考えましょう。

「わが家の防災ハンドブック」で各災害をイメージし、避難時の留意点を確認しましょう。

(9) 自らまたは家族、近所の友人などとともに避難を判断し、避難することができますか？

- 難しい
- 日中、家族がいない時間帯もあるので不安

(10) お住まいの地域に、家族や友人など以外で、普段から気にかけてくれる人や、見守り・声掛けをしてくれる人はいますか？

- いる
- いない

(11) 重度の知的障害／認知症がある、または人工呼吸器等の医療ケアが必要など、災害時の判断や、意思疎通、移動の対応が一般に難しいような状況ですか？

- はい / 対応が難しいかもしれない

災害時は地域の方の協力を得て、行政機関や関係団体等が避難のお手伝いをします。

地域の方に加え、介護・福祉の専門スタッフや行政職員と一緒に計画づくりに取り組みましょう。



避難できる

災害時は家族、近所の友人などと一緒に避難しましょう。

友人などに相談のうえ、家族と一緒に計画づくりに取り組みましょう。

自分で
つくる



いいえ / 特段の困難はない

災害時は地域の方の協力を得て、一緒に避難しましょう。

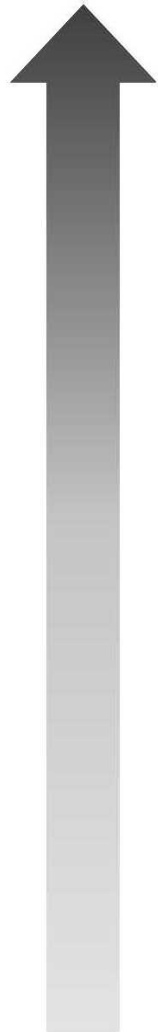
地域の方と一緒に計画づくりに取り組みましょう。

地域で
つくる



【① 3つの個別避難計画と課題分析シート】

優先度：高



優先度：低

優先度	災害リスク（水害・土砂、津波）	心身の状況	世帯状況／地域との関係
専門職	立退き避難が必要 ・洪水による浸水等の危険がある ・土砂災害の危険がある ・津波災害の危険がある	特別な対応が必要 ・判断や意思疎通が困難 ・移動が困難	近くに頼れる人がいない※ ・独居等 ・近所に友人等がない ・見守り・声掛け等がない
	立退き避難が必要 ・洪水による浸水等の危険がある ・土砂災害の危険がある ・津波災害の危険がある	特別な対応が必要 ・判断や意思疎通が困難 ・移動が困難	近くに頼れる人はいる
地域	立退き避難が必要 ・洪水による浸水等の危険がある ・土砂災害の危険がある ・津波災害の危険がある	特別な対応は必要ない	近くに頼れる人がいない※ ・独居等 ・近所に友人等がない ・見守り・声掛け等がない
	立退き避難が必要 ・洪水による浸水等の危険がある ・土砂災害の危険がある ・津波災害の危険がある	特別な対応は必要ない	近くに頼れる人はいる
自分	屋内安全確保／退避可能※ ・自宅建物（下階のみ）が浸水 ・上階に移動が可能 ・ライフライン停止の支障がない ・外出・来訪困難の支障がない ・緊急対応行動が可能	いずれか	いずれか
	災害リスクは低い	いずれか	いずれか

【個人】個別避難計画様式（両面）

ID: _____ 地区: _____ 同意区分: _____ 作成日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

自分でつくる個別避難計画

ふりがな	性別	生年月日	年	月	日
氏名	血液型	年齢	歳		
住所	〒 _____ 延岡市 _____				
本人の連絡先	(自宅)	(FAX)			
	(携帯)	(Email)			
緊急連絡先	氏名	続柄	住所	連絡先	居住
①				<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居
②				<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居
世帯状況	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 近隣に親族が... <input type="checkbox"/> います <input type="checkbox"/> いません <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 同居家族あり <input type="checkbox"/> 同居家族は... <input type="checkbox"/> 要配慮者のみです <input type="checkbox"/> 日中は不在 <input type="checkbox"/> 該当なし				
担当民生委員	(氏名)	(連絡先)	(備考)		
介護認定	<input type="checkbox"/> あり (要介護)	<input type="checkbox"/> なし	認知症	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
障害者区分	<input type="checkbox"/> 視覚障害(級) <input type="checkbox"/> 聴覚障害2級 <input type="checkbox"/> 呼吸器機能障害 <input type="checkbox"/> 小脳機能障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由(級) <input type="checkbox"/> 上肢 <input type="checkbox"/> 下肢 <input type="checkbox"/> 体幹 <input type="checkbox"/> 上肢機能 <input type="checkbox"/> 移動機能 <input type="checkbox"/> 障害手帳A <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳1級 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 能力障害				
その他・特記事項	医療的ケア <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 経鼻栄養 <input type="checkbox"/> 酸素吸入 <input type="checkbox"/> 口閉内吸引 <input type="checkbox"/> の内容 <input type="checkbox"/> 鼻腔内吸引 <input type="checkbox"/> 気管内吸引 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器				

【本人が確認する情報】

B 避難の流れ

大雨のとき	強い雨・大雨警報が出たら	①行政から出される避難情報に注意する ②「避難のときの持ち物」を確認して、準備をしておく
	高齢者等避難が出たら	どこに 誰と どうやって 避難する
津波のとき	強い揺れを感じたら 避難指示が出たら	どこに 誰と どうやって 避難する

C 避難のときの持ち物

必要	持った	必要	持った	必要	持った
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医薬品	<input type="checkbox"/>	着替え	<input type="checkbox"/>	筆記用具	<input type="checkbox"/>
お薬手帳	<input type="checkbox"/>	歯ブラシ、洗面用具	<input type="checkbox"/>	体温計	<input type="checkbox"/>
貴重品(現金)	<input type="checkbox"/>	保険証	<input type="checkbox"/>	懐中電灯	<input type="checkbox"/>
雨具	<input type="checkbox"/>	携帯電話、充電器	<input type="checkbox"/>	マスク	<input type="checkbox"/>
タオル	<input type="checkbox"/>	眼鏡、入れ歯、補聴器	<input type="checkbox"/>		
ビニール袋	<input type="checkbox"/>	傘、シルバーカー	<input type="checkbox"/>		
ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/>	杖、移動用補助具	<input type="checkbox"/>		

持ち物は _____ にあります

ペットについて

ペットを飼っていますか? はい いいえ

ペットを避難先に連れていきますか? はい いいえ

D 自宅の災害危険

<input type="checkbox"/> 洪水のとき浸水の危険が高い	<input type="checkbox"/> 大雨のとき土砂災害の危険が高い	<input type="checkbox"/> 地震のとき津波による浸水の危険が高い	<input type="checkbox"/> その他 ()
--	--	---	----------------------------------

【地域(支援者)が確認する情報】

E 避難先		F 避難経路	
大雨のとき	① 名称	移動手段 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 徒歩	所要時間 分
	② 名称		
津波のとき	① 名称	移動手段 <input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 徒歩	所要時間 分
	② 名称		

↑文章や図などで避難経路について書いてみましょう

G 避難支援の留意点

連絡するとき	<input type="checkbox"/> 視覚障害があるので状況を言葉で伝えてください <input type="checkbox"/> 聴覚障害があるので筆談や身振りなどで伝えてください <input type="checkbox"/> ゆっくり、はっきり、大きな声で伝えてください <input type="checkbox"/> 落ち着いた穏やかな口調で伝えてください	避難先で	<input type="checkbox"/> トイレの近い場所を希望します <input type="checkbox"/> 移動の際には誘導を行ってください <input type="checkbox"/> 使用する機器に必要な電源のある場所を希望します
避難するとき	<input type="checkbox"/> 本人に合わせ、ゆっくり避難誘導をしてください <input type="checkbox"/> 落ち着いた穏やかな口調で声掛けをしてください <input type="checkbox"/> 視覚障害があるので状況を言葉で伝えてください	その他のこと	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

H 支援者の情報

①	氏名	関係	支援内容
	連絡先		
②	住所		支援内容
	特記事項		

I その他・特記事項

【地域】個別避難計画様式（両面）

ID: _____ 地区: _____ 町区区分: _____ 作成日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

地域でつくる個別避難計画

A 本人の情報	ふりがな	性別	生年月日	年	月	日
	氏名	血液型	年齢	年	月	日
	住所	〒 _____ 延岡市 _____				
	本人の連絡先	(自宅)	(FAX)			
		(携帯)	(Email)			
緊急連絡先(家族等)	緊急連絡先	氏名	職柄	住所	連絡先	居住
	①				<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居
	②				<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居
世帯状況	世帯状況	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 同居に家族が... <input type="checkbox"/> います <input type="checkbox"/> いません <input type="checkbox"/> その他()				
		<input type="checkbox"/> 同居家族あり <input type="checkbox"/> 同居家族は... <input type="checkbox"/> 要配慮者のみです <input type="checkbox"/> 日中は不在 <input type="checkbox"/> 該当なし				
災害支援情報	祖父母生後員	(氏名)	(連絡先)	(備考)		
	介護認定	<input type="checkbox"/> あり (要介護 _____) <input type="checkbox"/> なし	認知症	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
障害者区分	障害者区分	<input type="checkbox"/> 視覚障害(_____ 級) <input type="checkbox"/> 聴覚障害2級 <input type="checkbox"/> 呼吸器機能障害 <input type="checkbox"/> 小脳 機能障害				
		<input type="checkbox"/> 肢体不自由(_____ 級) <input type="checkbox"/> 上肢 <input type="checkbox"/> 下肢 <input type="checkbox"/> 体幹 <input type="checkbox"/> 上肢機能 <input type="checkbox"/> 移動機能				
		<input type="checkbox"/> 療育手帳A <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳1級 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 能力障害				
その他・特記事項	医療的ケアの内容	<input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 経鼻栄養 <input type="checkbox"/> 酸素吸入 <input type="checkbox"/> 口腔内吸引				
		<input type="checkbox"/> 鼻吸引吸引 <input type="checkbox"/> 気管内吸引 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器				

B 避難の流れ

大雨のときは	いつ	どこに	誰と	どうやって	避難する
津波のときは	いつ	どこに	誰と	どうやって	避難する

【本人が確認する情報】

C 避難のときの持ち物

災害時に持つもの	あらかじめ準備しておくもの

持ち物は _____ にあります



ペットについて
 ペットを飼っていますか? はい いいえ
 ペットを避難先に連れていきますか? はい いいえ

D 自宅の災害危険	<input type="checkbox"/> 洪水のとき浸水の危険が高い	<input type="checkbox"/> 大雨のとき土砂災害の危険が高い	<input type="checkbox"/> 地震のとき津波による浸水の危険が高い	<input type="checkbox"/> その他 ()
-----------	--	--	---	----------------------------------

【地域（支援者）が確認する情報】

大雨のとき	①	名称	移動手段	<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 徒歩	所要時間	分
	②	名称	移動手段	<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 徒歩	所要時間	分
津波のとき	①	名称	移動手段	<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 徒歩	所要時間	分
	②	名称	移動手段	<input type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> 徒歩	所要時間	分

↑文章や図などで避難経路について書いてみましょう

G 避難支援の留意点

連絡するとき		避難先で	
避難するとき		その他のこと	

H 支援者の情報	①	氏名	関係	支援内容
		連絡先		
		住所		支援内容
		特記事項		
	②	氏名	関係	支援内容
		連絡先		
		住所		支援内容
		特記事項		

I その他・特記事項

【① 3つの個別避難計画と課題分析シート】

モデルケースでの計画作成

【モデルケース①】 10代・知的A・家族同居

■R3.11.11(木) 本人・家族と面会

■災害リスク：洪水3.0～5.0m、津波1.5～3.0m

⇒課題分析シートでは、家族と避難可能

⇒自分で作る個別避難計画

- ・ 想定災害規模の災害リスクと現実の乖離
- ・ 個別避難計画の認知度の低さ

【モデルケース②】 30代・上肢下肢1級・知的A・家族同居

■R3.11.15(月) 家族と面会

■災害リスク：土砂災害警戒区域、津波9.0m以上

⇒課題分析シートでは、家族と避難可能

⇒自分で作る個別避難計画

- ・ 要支援者家族の思い
- ・ 個別避難計画の意義

【モデルケース③】 70代・要介護3・下肢2級・高齢世帯

■R3.12.2(木) 本人(電動車イス)・家族と面会

■災害リスク：津波3.0～6.0m

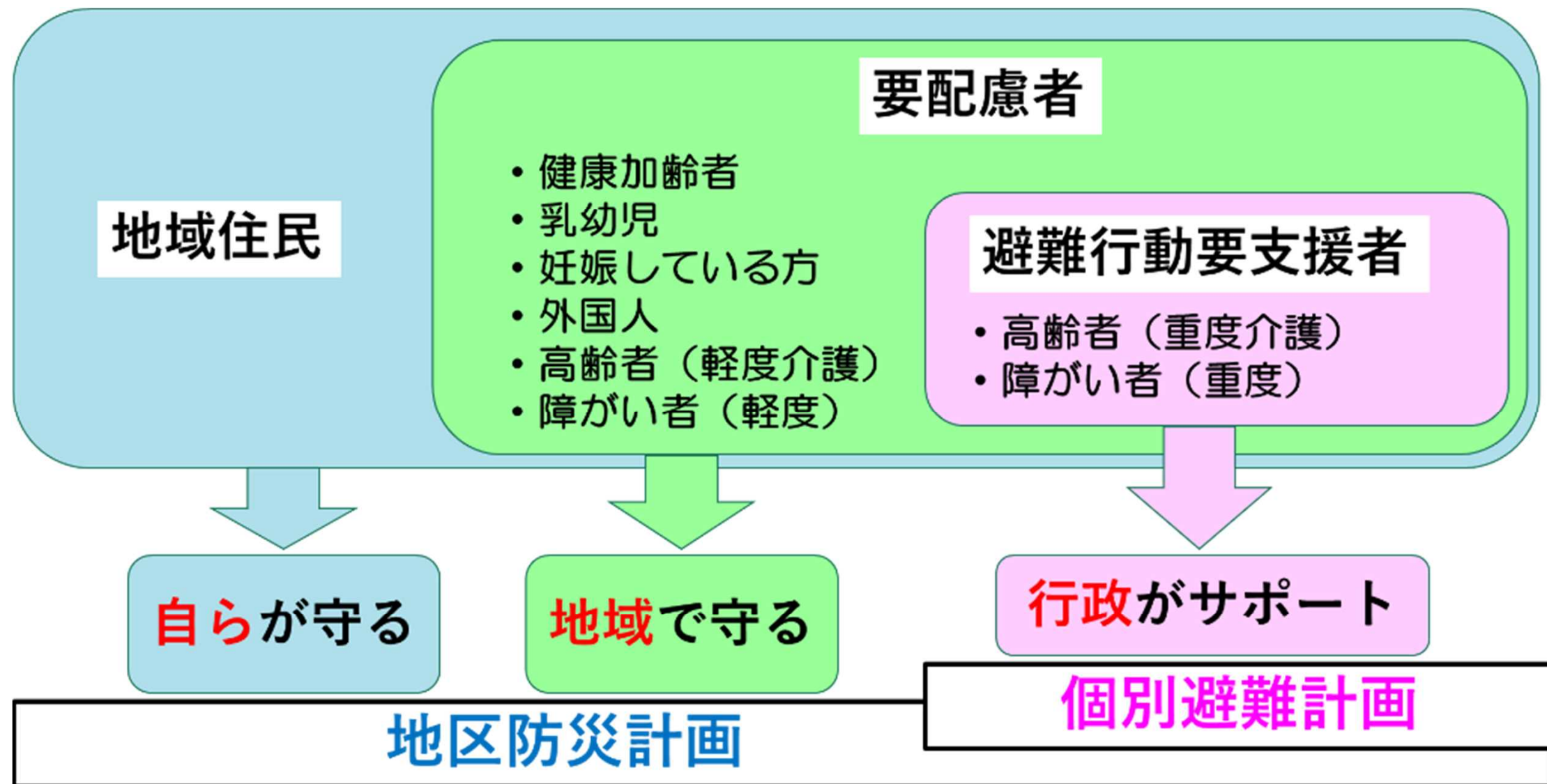
⇒課題分析シートでは、家族と避難可能。地域の助けがあるとより安心

⇒地域で作る個別避難計画

(R3.12.18(土)地域調整会議を開催)

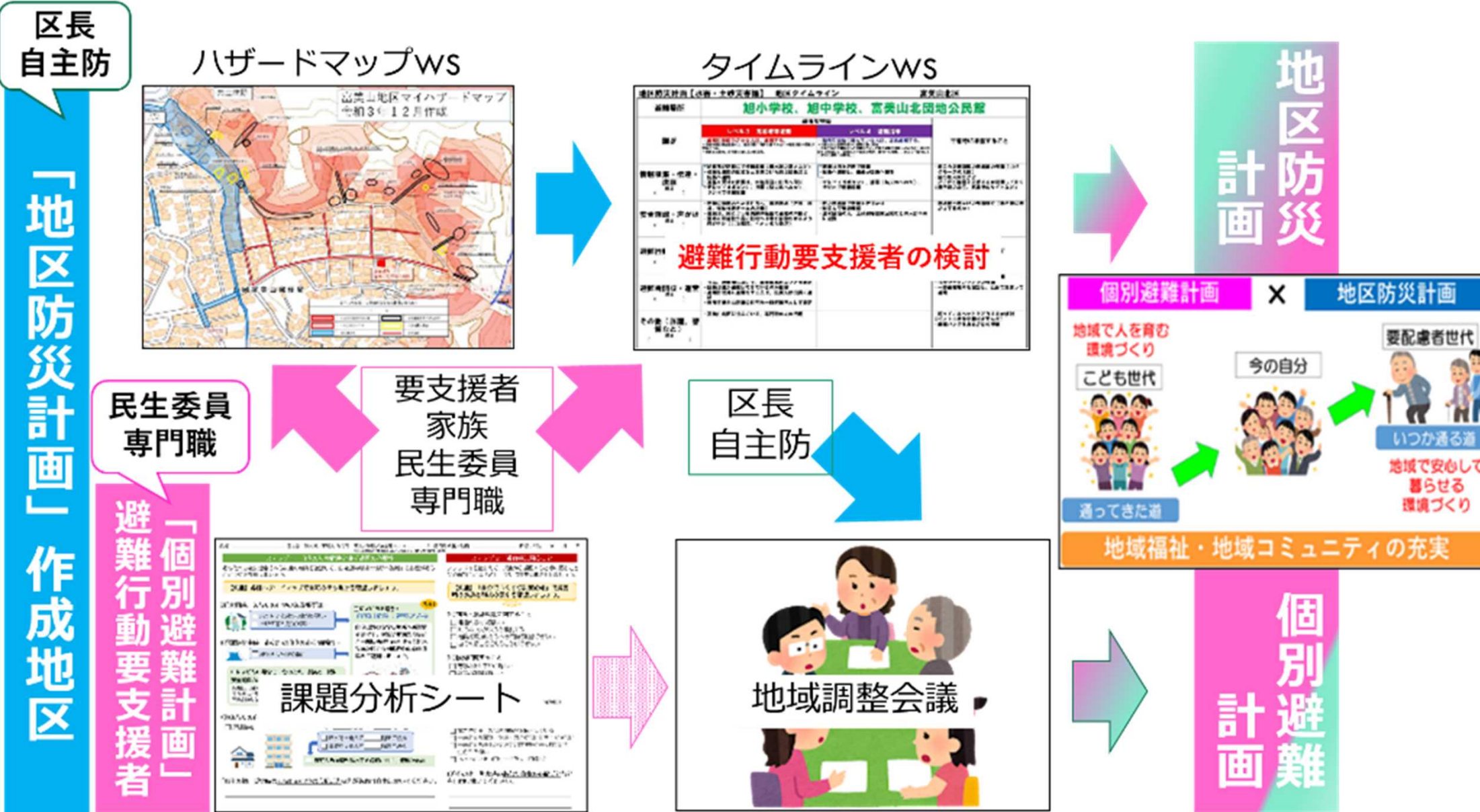
- ・ 要支援者本人の意識変容

【② 個別避難計画と地区防災計画の連携】



【② 個別避難計画と地区防災計画の連携】

個別避難計画と地区防災計画の連携イメージ図



課題①：地域調整会議の仕組み作り

【当初予定】

- ・地域調整会議を数多く開催し、区長や民生委員、専門職と協議を行い、日程・場所・関係者への連絡などの開催方法や会議進行などのモデルケースを作る。
- ・来年度以降のスムーズな地域調整会議の開催に繋げる。

【至らなかった理由】

- ・新型コロナの影響で十分な数の個別避難計画作成に至らなかった（作成数3、調整会議1回）

【今後の対応】

- ・多くの計画作成に取り掛かり、地域調整会議を開催する。
- ・ある程度の計画が作成した段階で、関係者で集まり、これまでの開催方法や会議内容、計画作成にかかる一連の流れの課題を抽出し、改善を図っていく。

課題②：関係団体との合意形成

【当初予定】

- ・個別避難計画策定検討委員会の参加団体に、計画概要や作成方法等に関する説明会をし、来年度早期に計画作成に着手する。

【至らなかった理由】

- ・新型コロナの影響で、R4.1月から予定していた説明会が中止・延期となった。
- ・検討委員会出席の委員には、市の取組について合意を得たが、関係する事業所等まで説明できなかった。

【今後の対応】

- ・R4.3月から専門職、区長、民生委員への説明会・研修会を開催する。

1. 庁内外の関係者を巻き込む

【庁内】

・危機管理部局×福祉部局が連携して取り組むことを、担当レベルではなく、部局長レベルで庁内組織として合意する（辞令等が出るとなお良い）。

【庁外】

- ・行政が中心となって計画作成していく強い思いや覚悟を伝える。
- ・計画の必要性を十分に理解してもらい、区長・民生委員・専門職・社協などの誰か一人に負担を押し付けない。
- ・何か特別なことを始めるのではなく、それぞれの日常業務の延長線上に計画作成があることを理解してもらう。

2. 地域住民の理解（ワークショップの開催） ⇒ 地区防災計画WS

- ・自治会単位などで住民向けのコミュニティタイムラインワークショップなどを開催し、地域住民の防災に対する機運を高め、地域の避難に対する考え方を理解する。
- ・地域に要配慮者（避難行動要支援者）がいることを広く認識する。

3. 地域調整会議の開催・計画の作成

- ・避難行動要支援者本人、家族、避難支援等関係者で地域調整会議を開催する。

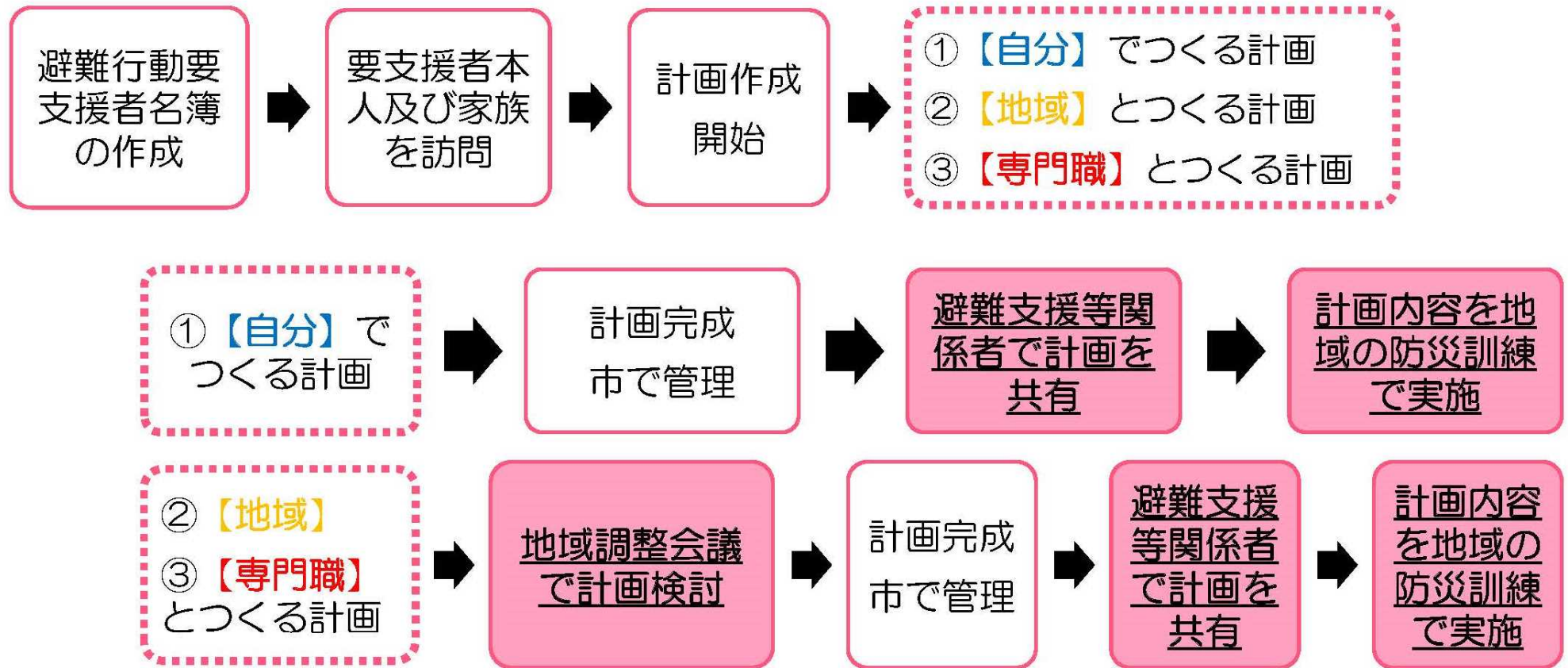
4. 検証

- ・計画をある程度の件数作成した段階で、計画作成の一連の流れなどに課題がないか、関係者を一堂に会し、検証し、改善を行う。

- ・庁外関係者をいかにうまく巻き込んでいくかが一番のポイント
- ・時間をかけてでも丁寧に説明し、より多くの理解を得ることが計画作成の近道

個別避難計画 作成フロー図

令和4年7月以降



【避難支援等関係者（想定される関係者の例）】
要支援者本人、家族、友人・知人・近隣住民、福祉専門職、**民生委員**、区長、自主防災組織、消防本部など

富美山北区 山本区長



富美山北区は、浸水や土砂災害などの危険性が高い地域です。今回のモデル事業では、兵庫県立大学大学院のさかもとまゆみ阪本真由美教授に助言をいただいたり、防災推進員さんと顔の見える関係になるなど、新たなつながりや取り組みができました。また、地域でアンケート結果や勉強会を行うなど、住民みんなで防災意識を高めながら改善点を話し合うことができるようになり、今回の取り組みを通して得たものは地域の宝となりました。今後も継続して安心して暮らせる地域にしていきたいと思えます。



地区タイムラインの作成

いつ・どこで・だれが・なにをするかを決めた富美山北区独自のタイムラインです。

富美山北区には大きな用水路があるので、自分たちで危険水位を設定し、早めに避難することとしています。地区住民へのアンケート調査や危険箇所、避難場所などの改善を行う中で、地域の防災意識の高まりを感じています。また、地域に住んでいる学校や保育園の先生などの参加にも繋がったことで心強さを感じています。

防災まち歩き

マイハザードマップの作成



地区の危険箇所を自分たちで実際に歩き、マップにしました。自分たちが知らない危険箇所を新しく発見できたので、とても有意義だったと思います。

富美山北団地 塚原区長



富美山北区と一緒に地区防災計画作成の取り組みを開始しました。地区防災計画は、この地区の防災はどんなことをやっているのか体系的かつ要約されているため、新任の方々への引継ぎがスムーズになったり、防災の教育にもつながると考えています。

計画作成の過程では、役員だけでなく、各組単位でもまち歩きをするなど、多くの地区住民の参加を促し、ブロック塀などの危険な箇所の把握を行いました。



地区の避難に必要な指針やマイハザードマップなどの資料を1つのファイルにして、区長や組長などが引き継げるようにしていきたいとのこと

みどり区 森口区長



みどり区では、避難に補助が必要な人や避難経路などを掲載した地図を作成しています。今回、富美山北区の取り組みを参考にし、実際にまち歩きをして把握した危険箇所を写真で地図に追加するなど、毎年内容の更新を行っています。

また、年に数回予告なしの防災訓練や防災グッズの配布を行っており、今後は子どもの避難訓練を検討しています。地区の放送設備については、防災に関する内容のみにし、放送内容への関心度、危機感を高めています。



補助が必要な人や避難経路、危険箇所を同じ地図に記載

個別避難計画



地区防災計画

地域で人を育む
環境づくり

こども世代



通ってきた道

今の自分



要配慮者世代



いつか通る道

地域で安心して
暮らせる
環境づくり

地域福祉・地域コミュニティの充実

みんなで決めて、みんなで逃げる

住民主体の防災情報アプリ 「防災のべおか」



Android版
(Google Play)



iPhone版
(iOS)

